GC·SI副専攻: SI (ソーシャル・イノベーション)コースとは?

ソーシャル・イノベーション (Social Innovation) とは、新しい商品やサービス、制度によって社会課題を解決することです。SIコースでは、 海外の学生との協働学修を通して3つのチカラを養います。将来、行政やNPO、企業などでソーシャル・イノベーションを担う人はもちろ ん、グローバル志向の有無にかかわらず、あらゆる社会の現場で主体的に課題発見・解決に取り組む人を育成します。



発見するチカラ

海外の学生と共に、社会問題とその 歴史や文化、背景を考察する経験か ら、問題の本質を発見するチカラを養 います。



創造するチカラ

解決するためのコンテキストを創造 し、それを実現する新しい商品やサー ビス、制度を生み出す力を養います。



実現するチカラ

行政、NPO、企業、地域住民など様々 な立場の人の垣根を越えた協働を実 現し、問題を解決する力を養います。

GC·SI副専攻: SIコースの履修のポイント!



全学年が対象

SIコースは、どの学部でも何年生から でも履修・修了することができます。 計画的に履修しよう!



副専攻登録は、SIGLOCの履修時等 に行います。



一部の履修も可能

副専攻修了認定を目指さない人でも、 SI入門、国際協働演習、SIGLOCなど は自由に履修することができます。

CONTACT

大阪公立大学COIL推進室

公式サイト

YouTube



Twitter



お問い合わせ GC·SI副専攻ガイド

**** 06-6605-2249

✓ gr-las-coil_@omu.ac.jp

2023年2月改訂



SI(ソーシャル・イノベーション)コースの 3 つの柱

必修3要件

ソーシャル・イノベーション入門

ソーシャル・イノベーションの基礎的・総合的な学修を行いま す。ソーシャル・イノベーションに関する基本概念を修得し、具 体的な事例を通して、社会問題に関する理解を深め、解決への 多様なアプローチについて学び、ソーシャル・イノベーションに 取り組むための基本的な考え方を身につけます。

国際協働演習:ICW (GC総合演習1も可)

社会の問題をコンテキストと共に発見し、多文化・異文化、社会 と自然などの社会課題に関する知識を深め、論理と気づきによ り解決する能力を養います。同じテーマを海外の学生と一緒に 考えることで、日本の事情を海外の人に説明する力、海外の事 情を理解するための質問力が身につきます。

国際協働演習: ICWってどんな授業?

ICT(情報通信技術)を活用したCOIL型の演習授業です。 海外のパートナー校の学生とSNSなどを活用して継続的 に授業を進めます。Zoomを使ったリアルタイムの接続授 業も実施します。



(FRかPRCMのどちらかを履修)

ソーシャル・イノベーション実習: FR

社会課題の把握や分析、解決策の考察のために必要な、 フィールド調査に関する基礎的な知識と技能を学ぶ実習 授業です。学生がフィールド調査の計画を立て、現地調査 を通じて得たデータを、整理・分析する作業を行います。

ソーシャル・イノベーション演習: PRCM

プロジェクト・サイクル・マネジメント(PCM)という手法 を使って、社会課題を解決するための事業(プロジェクト) を演習を通じてデザインする授業です。

SIGLOC

•

(ソーシャル・イノベーション研修)

"英語で考える"3週間で英語力もアップ!

SIGLOC(Socially Innovative Global Classroom)は、海 外の学生とともに多様な視点から社会課題を発見し、解決策 を模索する約3週間の研修型の授業です。様々な国からの参 加学生との混合グループ(3~5名程度)で、フィールド・リ サーチやディスカッションを行い、ソーシャル・イノベータと して経験を積みます。この授業は集中授業として年に数回開 講します。実施回により履修登録時期や形態が異なります。



基幹教育科目で開講されている科目のっち、SIコース修了要が コア科目(選択必修) なっている科目(GC・SI副専攻ガイドを参照)から選択します。 基幹教育科目で開講されている科目のうち、SIコース修了要件の対象と

選択必修①6単位

「自己・他者・多様性を理解できる力」を 習得する科目群

あなた自身が海外の学生にとって「一緒に学ぶだけの魅 力のあるパートナー」になるために、日本の社会や自分の 問題意識について、自信をもって海外の学生に発信・説 明できる力を身につけるための科目群です。

選択必修②4単位

「外国語を活用できる力」を 習得する科目群

海外の学生と協働するためには、グローバルに通用するアカデ ミックスキルが必要です。日本語で伝えたい内容を、的確に明快 に伝えるためにどのように英語で表現すればいいのか、ライティ ングやスピーキングのスキルを習得するための演習です。

修了認定を受けるには

SIコース修了の認定を受けるには、下記の4つの条件を全て満たすことが必要です(順序は問いません)。対象科目一覧も含めた詳細については 「GC・SI副専攻ガイド」を必ず確認してください。決められた認定申請期間内に、各自で申請手続きを行ってください。

> 必修3要件を満たす (SIGLOC履修時に副専攻登録も行う)

集中授業 「SIGLOC(ソーシャル・イノベーション研修)」を 履修する

コア科目(選択①群) 「自己・他者・多様性を理解できる力」から 6単位を取得する

コア科目(選択②群) 「外国語を活用できる力」から 4単位を取得する

COILとは

Collaborative Online International Learning

ICTを駆使した海外学生との地球規模のコミュニケーションにより、 新しい観点や知識とより深い学びを得る方法です。自分の頭で考え 自らが行動する、といった社会で活躍するために必須のチカラが身 につきます。大阪公立大学は、日本におけるCOIL型教育をリードす る大学のひとつです。















